

東北大学訪問 in青葉山新キャンパス

(山西リケジョプロジェクト)

11月10日(土)に、来年度理型を選択している1年生20名が、東北大学を訪問してきました。これは、毎年、山西リケジョプロジェクトとして実施しているもので、理系進学希望者の科学技術に対する理解を深め、理科への興味・関心を高めることにより、将来の科学技術の進展に対応する能力を育成することと、理系分野の進路選択の幅を広げることを目的としているものです。

本企画では、東北大学の研究室見学、東北大学サイエンス・エンジェル(理系大学院女子学生)の交流を通して最先端研究に触れ、進学意欲を高めることを目的としています。

今回の訪問に参加した人にとっては、とても有意義な時間だったことと思います。サイエンス・エンジェル(5名)との交流から、大学で学ぶことや高校生活で心掛けることなどを伺うことが出来ました。

<印象に残ったこと>

- ◎論文を原文で読むので、英語は大切!
- ◎コミカ高い
- ◎専門的なことをとことん研究できる
- ◎牛やマウスの精子やミジンコ・ヤゴに関わる研究を実際に見て、思っていた以上に面白かった。
- ◎ミジンコ
- ◎ミジンコの頭に生えているのが手でなく足であること
- ◎ミジンコの目が一つしかないこと。ミジンコの繁殖にはメスしかいないこと
- ◎土日でも研究している人がいる。



農学研究科 動物生殖科学の研究



農学研究科 食品工学



生命科学研究科



環境科学研究科 無機材料化学分野

<感想>

◎今回の東北大学訪問で印象に残ったことは、ほとんどの方が「こういうことをしたい!」と語っていることである。

◎たくさんのサイエンスエンジェルの方から色々なお話を聞けたので良かったです。特に、これからの学習や大学決定に関する話はとても参考になりました。自分が学びたいことをしっかりと調べ、選択していきたいと思いました。

◎大学生生活がとても楽しそうだなあと感じました。楽しく送るためにも基礎となる学力が必要であって、今のうちから努力しなければならないだろうと思いました。自分のやりたいことが明確になっていなくても、まずは頑張ってみてから決めるのもアリなのだと知りました。

◎女性の研究者でも偏見を持たれずに集中して研究を行える環境が整えられていると思った。



生命科学研究科 ヤゴ、ミジンコの研究

※Tシャツにはヤゴのプリントが入っています



東北大学男女共同参画推進センターHPにも掲載されております。

<http://tumug.tohoku.ac.jp/blog/2018/11/14/12981/>